

さと  
やすらぎの郷





## 敬老の集い

9月21日、敬老の集いを開催しました。

多くのご家族様が参加し、とても賑やかな式典となりました。今年度当施設には、100歳以上が3名、白寿が6名、米寿が8名、傘寿が4名、喜寿が4名いらっしゃり、それぞれの方に園長から記念品が贈呈されました。

式典の最後にはデイサービス利用者の方々による出し物が行われ、参加者全員で音楽に合わせて踊りを行いました。

今後ご利用者の方々が健やかな毎日を過ごせるよう、職員一同質の高い介護の実践に努めて参ります。



## ♡ ミスユニバースがやってきた ♡

2016年ミス・ユニバース・ジャパン福岡大会へ参加する候補者が、ビューティーキャンプの一環として、やすらぎの郷にやってきました。

デイサービスでは、ご利用者の皆さんに踊りやウォーキングを披露し、拍手喝采を浴び、最後は素敵な笑顔で送り出してくれました。

その後、当施設の社会福祉士より福祉についての講義を受け、美しさに一段と磨きがかかったように感じました。

皆さんの福岡大会、全国大会での健闘を期待しています！

ありがとうございました。







# 第3回秋祭り



10月25日(日)、第3回秋祭りを開催しました。  
当日は天候に恵まれ、澄み切った青空の下、無事に開催することができました。

8月下旬から手掛けていたコスモスガーデンもきれいに咲き揃い、祭りに華を添えてくれました。

地域の方々を含む300人以上の方々にお越しいただき、会場は大賑わい！

ステージではボランティアの方々による出し物が行われ、会場は立ち見が出るほどの満員となりました。

入所者の方々は、ご家族や職員と一緒に出店で食べ物を買って、多くの方がコスモスガーデンの近くに設置されたテラス席で穏やかなひとときを過ごしました。

ステージではボランティアの方々による出し物が行われ、会場は立ち見が出るほどの満員となりました。







# ヤギがいた夏



5月7日から10月9日まで、中庭でヤギ2頭を飼育していました。

当施設にやってきてすぐに、利用者の方々の人気者となり、約5カ月間、皆さんの癒しとなってくれました。

9月23日にはなんと、子ヤギ3頭が生まれました！ヤギが妊娠しているとは分からず、「最近太ったね～」と話していた職員たちはとてもびっくりしました。

子ヤギ3匹はご利用者の方々のアイドルとしてたくさんの方に抱っこされ、すくすくと元気に育っていました。母ヤギの後を追って



走る姿はとてもかわいらしく、「かわいいわね～！」と大人気でした。

昔、ヤギを家で飼っていたというご入所者も多く、「ヤギはたいてい双子でうまれるけれど、3つ子のヤギは珍しいんだよ。」と職員に教えてくれました。

5カ月という短い間でしたが、利用者の方々にたくさんの思い出を作ってくれました。



立派なヤギ小屋は恒吉業務員の手作り



お母さんの背中に乗るのが大好き

# お風呂が自慢です!

## デイサービス

当デイサービスの自慢はお風呂です。窓が大きく、外光が浴槽や洗い場を隅々まで輝かせて明るく安心感があります。浴槽は温泉地にあるようなお風呂をイメージしており、ご利用者の方々が毎回楽しみにしていらっしゃいます。

### 一般浴

主に歩行可能な方が入られるお風呂です。内部は複数の手すりに囲まれており、自力で安心して入浴可能です。内部を手すりを伝ってぐるっと回ることができ、良い運動にもなります。



### 機械浴

車椅子で生活される方や一般浴が困難な方が座ったまま、浴槽に入れるお風呂です。自宅ではお風呂に入ることができなくても湯船につかりたい方に好評です。



### 洗い場

個々の洗い場にも大きな手すりが備えられ、下肢の力に不安な方も安心して職員の介助を受けながら、身体を洗えるように工夫しています。





# 介 護 一 口 メ モ



## 帰宅願望について



### 帰宅願望とは

「家に帰りたい」と訴える事。デイサービスやショートステイ、施設入所などで家ではない場所にいるときに家に帰りたいと訴える場合だけでなく、自宅にいても家に帰りたいと訴え、外に出てしまう場合もある。また家を探して歩く徘徊に繋がる事もあり、家族が気付かない間に家から出てしまい、迷子になったり、行方不明になることもある。

引用：認知症ねっと<https://info.ninchisho.net/symptom/s150>

やすらぎの郷にも、帰宅願望のある方がいます。理由は様々ですが、とある方は「仕事に行かないけん」「うちに家族がまっとるけん」などと言われ、「自転車(バス)で帰る」「どこに自転車置いとった?」「バス停はどこ?教えて」と交通手段も明確です。

この方にとって、施設は家ではないですし、まだ気持ちは働き盛りで自宅には帰りを待っている家族がいるのです。そのために帰りたいと言われるのです。

私たち介護職員は、この方ととことんお話をします。「お仕事は何をされていたのですか」「おうちは何処ですか」「自転車を漕ぐのは得意ですか?足は痛くならないですか」「バス停まで遠いので、歩くと時間がかかりますがどうされますか」「お子さんが迎えに来られるのでそれまで待ちませんか」など。このやりとりを最終的に「じゃあ今日は泊まっていこうかね」と納得をしてくださるまで、長い時には朝から夕方まで、断続的にかつ繰り返して行きます。このやりとりをほぼ毎日繰り返す事によって、最近は他の帰宅願望がある利用者の方に「今日は泊まりなさい。ご飯もあるし、泊まった方がいいよ」と言ってくださることもありました。

もしかしたら居心地の良い場所だと思っていただけたのかもしれませんが。この方や、その他の大勢の利用者の方にも、やすらぎの郷を落ち着いて過ごせる場所、慣れ親しんだ場所だと思っただけのよう、これからも私たちは丁寧に接していきたいです。

また、この対応はどの方にも当てはまるわけではないと思いますので、何かお困りのことがありましたらお気軽にご相談下さい。

東棟介護職員 池田 悠子